

## 廃棄PET使用した 環境配慮型舗装を施工

N I P P O

N I P P Oは東北特殊鋼（宮城県村田町、成瀬真司社長）構内の舗装改修工事で、改質剤の一部に廃棄PETを使用する環境配慮型舗装「リピットペーパー」を施工した。舗装面積は164㎡、舗装の厚さは5cm。容量1.5ℓのペットボトル2620本分を再利用した換算になる。

リピットペーパーは、破碎した廃棄PETに化学処理したポリエステル樹脂を用いてアスファルト混合物に添加することで、一般的なアスファ

ルト舗装よりも耐久性を大幅に向上できる。

同じ高耐久アスファルト舗装の半たわみ性舗装は施工後の温度が下がりにくく養生に時間がかかる。セメントミルク注入作業も困難となる場合が多いという。リピットペーパーでは一般的なアスファルト舗装と同様の方法で施工ができ、セメントミルク注入作業も不要となり、素早い交通開放を実現する。

今回の工事場所は鋼材を運搬するフォークリフトの通路であり、鋼材保管も行うため、短時間での施工が求められた。リピットペーパーの採用により、半たわみ性舗装で2日要す

リピットペーパーの施工状況  
(報道発表資料から)



る工事日数を1日に短縮した。

東北特殊鋼は半たわみ性舗装と比較し、耐久性などに問題がなければ鋼材運搬車の通路などへのリピットペーパーの採用を検討するとしている。



## NIPPO 環境配慮アス舗装を展開 廃棄PET使用、高耐久性

NIPPOは、加熱アスファルト混合物に添加する改質

剤の一部に廃棄PETを使用した環境配慮型で高耐久性なアスファルト舗装「リペットペーパー」を開発、展開している。同社東北支店は、東北特殊鋼(宮城県村田町)の構内の舗装改修工事に適用したII写真。舗装厚さ5センチで164平方メートルを舗装し、これにより1・5センチのペットボトル2620本を再利用したことになる。リペットペーパーは、破碎された廃棄PETを化学処理したポリエステル樹脂をアスファルト混合物に添加すること

により、一般的なアスファルト舗装よりも高耐久で、廃棄PETをリサイクルした環境配慮型のアスファルト舗装となっている。

また、同じ高耐久アスファルト舗装の半たわみ性舗装は、施工時や施工後の養生に時間を要するが、リペットペーパーは一般的なアスファルト舗装と同様の方法で施工でき、すぐに交通開放ができる。今回の工事は、鋼材を運搬するフォークリフトの通路が対象で、鋼材保管も行ったため、短時間での施工が求められていた。

表層は半たわみ性舗装厚さ5センチを2日間の施工で行うものだったが、表層の厚さ5センチ部分をリペットペーパーで施工することで、工場稼働の支障となる工事日数を2日から1日に短縮した。また、PETの廃棄量削減などへの貢献にもつながった。

東北特殊鋼は、「サステナビリティ基本方策」を制定し、取り組むべき重要課題として「環境負荷の低減への貢献」を定めている。構内整備でも環境負荷低減に取り組んでおり、リペットペーパーを採用した。従来の半たわみ性舗装と比較し、耐久性などを確認でき次第、鋼材運搬車の通路などへの採用も検討する。